



一雲済川流域治水対策推進協議会

令和 7 年度 of 取組状況と令和 8 年度の取組予定

令和7年度の取組状況と令和8年度の取組予定

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ No.1-1：一雲済川の1/5規模の暫定改修（県） p.2
- ・ No.1-2：清水橋付近と谷口橋上流の1/2以下規模の暫定改修（県） p.3
- ・ No.1-5-1、1-5-2
 - ：雨垂川の屈曲部改良と改修（市） p.4
- ・ No.1-8：田川沢の遊水地の浚渫・増設（市） p.5
- ・ No.2-1：上野部川放水路の整備（県） p.6
- ・ No.6-1：河川や水路に堆積した土砂の除去（県） p.7
- ・ No.6-2：河川や水路に堆積した土砂の除去（市） p.8
- ・ No.9-1、9-2、9-3
 - ：森林整備・治山事業による流出抑制対策（市） p.9

■被害対策を減少させるための対策

- ・ No.2-4：浸水感知センサの設置（市） p.10

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ No.3-2：高台など安全な避難場所の確保（市） p.11
- ・ No.3-3：地域防災力の強化（市） p.12
- ・ No.3-4：ハザードマップなどのリスク情報の周知啓発 及び わかりやすい情報の提供 . p.13
- ・ No.3-7：SNSを活用した情報収集・情報提供（市） p.14
- ・ No.3-13：ハード整備効果の積極的な情報発信（市） p.15

1.氾濫をできるだけ防ぐための対策

【一雲済川】

1-1 一雲済川の1/5規模の暫定改修

実施主体：袋井土木

《施策内容》

一雲済川において、1/5規模に対応した暫定改修を実施する。

令和7年度の進捗状況

- 惣兵衛橋架替に伴う仮橋を含む仮設道路設置 …施工中
- 永代橋架替に伴う橋梁詳細設計 N=1式

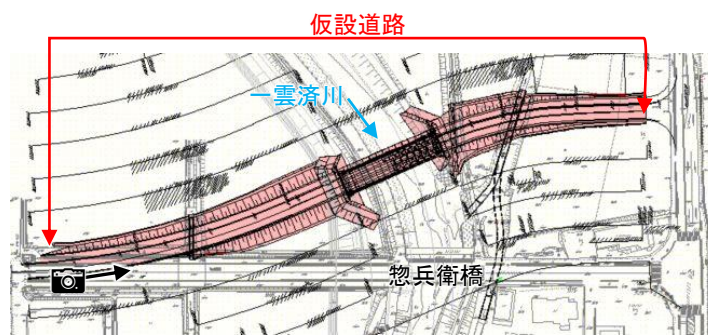
令和8年度の予定

- 惣兵衛橋架替に伴う 工事用道路設置 N=1式 (R9.3完成予定)
- 永代橋架替に伴う道路・護岸詳細設計 N=1式
- 興隆橋架替に伴う橋梁予備設計 N=1式

施策実施に係る課題

- 令和15年度完了に向けて、惣兵衛橋と永代橋に加えて興隆橋の橋梁架替と、橋梁統合に伴う栄橋の撤去（惣兵衛橋に添架管移設後）を並行して進めていくための予算確保と工程管理。

惣兵衛橋上流に仮設する架設道路の工事状況



1.氾濫をできるだけ防ぐための対策

【一雲済川】

1-2 清水橋付近と谷口橋上流の1/2以下規模の暫定改修

実施主体：袋井土木

《施策内容》

一雲済川の清水橋付近及び谷口橋上流において、1/2以下規模に対応した暫定改修を実施する。

令和7年度の進捗状況

- 谷口橋上流の暫定改修の実施 L= 90m (R8.5未完成)

令和8年度の予定

- 清水橋上流の暫定改修の実施 L= 80m

施策実施に係る課題

- 谷口橋上流を1/30確率規模の整備計画断面で改修するためには、天竜川下流用水の伏せ越し箇所の改築が必要なことから、施設管理者である関東農政局西関東土地改良調査管理事務所と県企業局との将来の改修に向けた協議が必要。

暫定改修の実施状況



現況：写真位置①
(谷口橋上流)

令和8年度実施予定箇所



現況：写真位置②
(清水橋付近)



1.氾濫をできるだけ防ぐための対策

【一雲済川】

1-5-1、1-5-2 雨垂川の屈曲部改良と改修

実施主体：磐田市（道路河川課）

《施策内容》

雨垂川の屈曲部改良および河川改修を実施する。

令和7年度の進捗状況

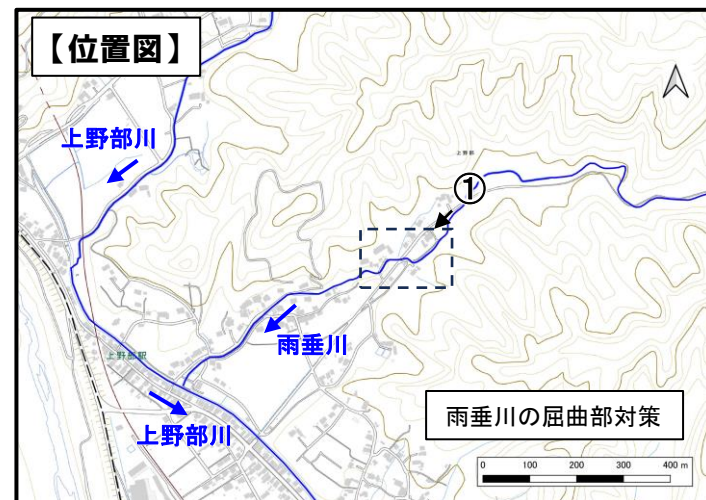
- 雨垂川の屈曲部改良工事を完了
施工延長 L=40.9m
ブロック積工 A=141m²

令和8年度の予定

- 令和7年度の屈曲部改良により、短期対策完了。

課題への対応方針・今後の予定

- 下流の上野部川放水路整備後に雨垂川の河川改修を実施予定
- 令和4年9月台風第15号で甚大な被害を受けた雨垂川屈曲部の改良を行い、河川の流下能力が向上した。



工事着手前：写真位置①



工事完了後：写真位置①

1.氾濫をできるだけ防ぐための対策

【一雲済川】

1 - 8 田川沢の遊水地の浚渫・増設

実施主体：磐田市（道路河川課）

《施策内容》

田川沢の既存遊水地内の浚渫等維持管理および増設を実施する。

■ R 7 年度の進捗状況

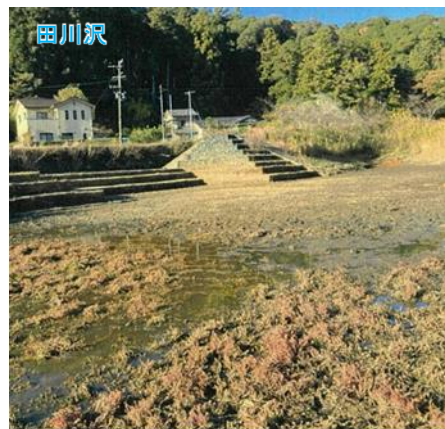
- 田川沢遊水地
浚渫 501m³実施 雑木伐採・除草 575m²実施
- 遊水地の改修（増設）に係る用地測量・詳細設計の実施

■ 令和 8 年度の予定

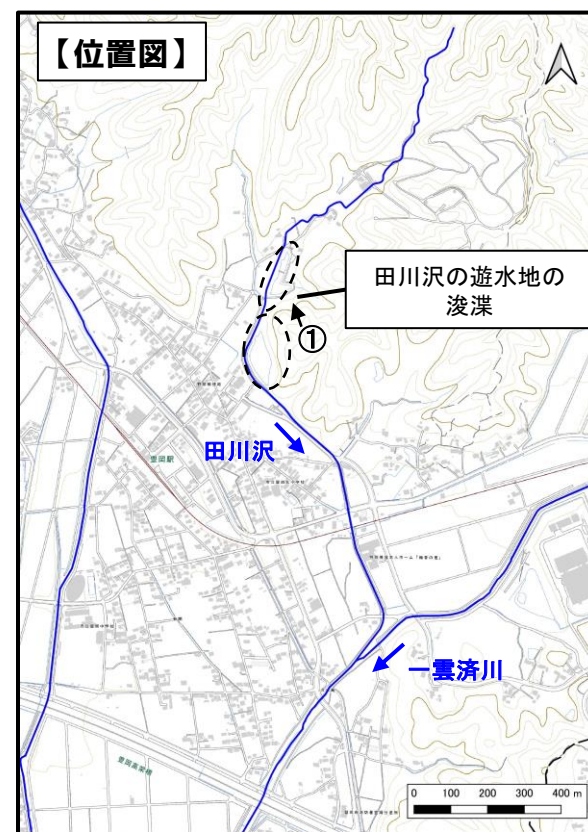
- 堆積土砂の除去、雑木伐採、除草等を継続的に実施
堆積土砂の除去や雑木伐採等を、継続的に実施することで、
既存の遊水地の持つ雨水貯留能力が確保される。
- 田川沢遊水地の改修（増設）に関する用地買収



工事着手前：写真位置①



工事完了後：写真位置①



1.氾濫をできるだけ防ぐための対策

【一雲済川】

2-1 上野部川放水路の整備

実施主体：袋井土木

《施策内容》

上野部川の放水路整備を実施する。

令和7年度の進捗状況

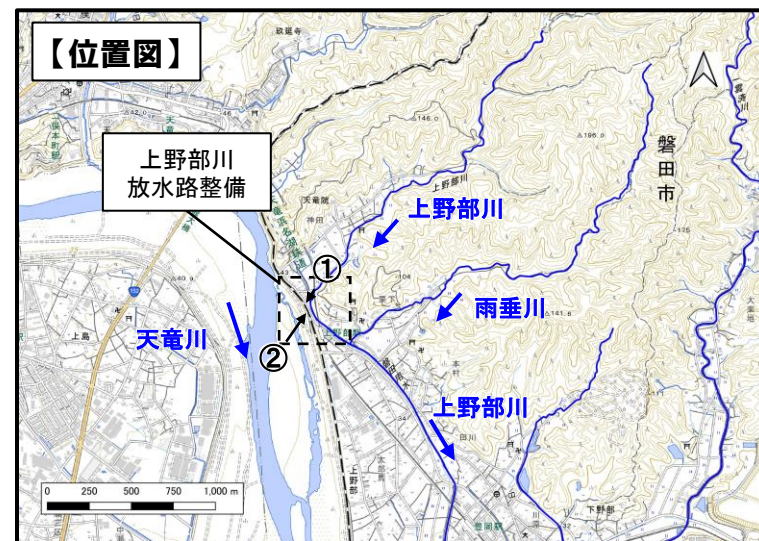
- 上野部川放水路を位置付けた一雲済川河川整備計画の変更・公表
- 現地測量、縦断測量、横断測量 N=1式
- 河川管理者（国）と放水路位置について協議を実施
- 放水路予定地周辺住民を対象とした地元説明を実施（R8.2）

令和8年度の予定

- 用地測量 N=1式
- 引き続き、放水路の構造や施工方法について、河川管理者（国）との協議を進める。（構造協議等）

施策実施に係る課題

- 上野部川と放水路の分流部について、適正分派を考慮した形状や構造の検討
- 上流からの土砂や立木への対応策の検討
- 超過洪水を考慮したゲートの運用方法と操作規則の検討



1.氾濫をできるだけ防ぐための対策

【一雲済川】

6-1 河川や水路に堆積した土砂の除去

実施主体：袋井土木

《施策内容》

一雲済川および上野部川において、出水等により堆積した土砂を除去する。

令和7年度の進捗状況

(実施箇所赤)

- ① 一雲済川 (上神増) $V=2,000\text{m}^3$
 - ② 一雲済川 (田川沢合流点) $V=660\text{m}^3$
 - ③ 一雲済川 (亀井戸) $V=300\text{m}^3$
 - ④ 一雲済川 (大楽地①) $V=230\text{m}^3$
 - ⑤ 一雲済川 (大楽寺②) $V=1,100\text{m}^3$
 - ⑥ 上野部川 (神田) $V=750\text{m}^3$
- 合計：5,000 m^3

令和8年度の予定

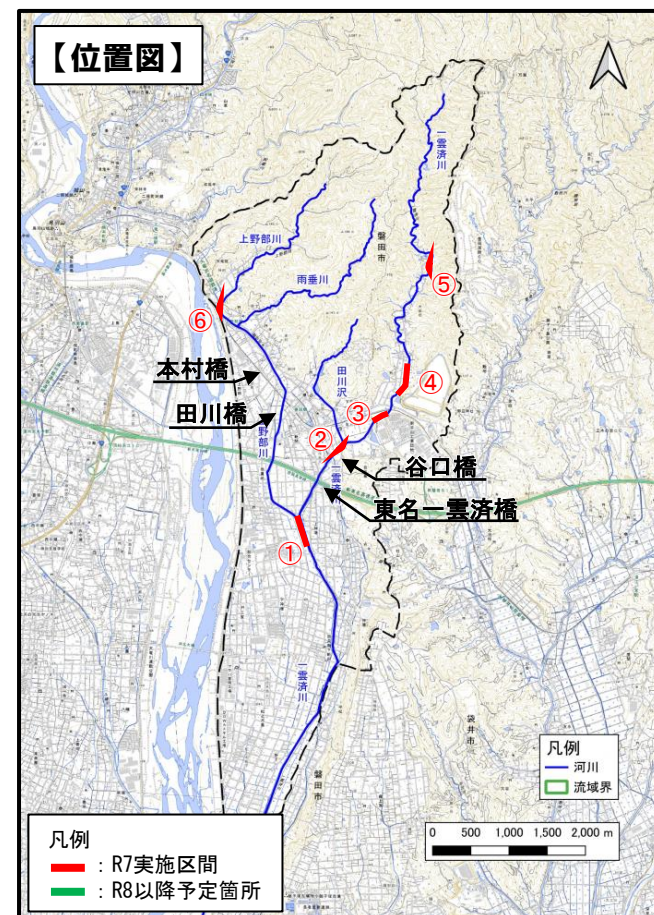
※堆積状況を適宜調査し、堆積土砂を撤去していく



工事完了後：写真位置② (田川沢合流点)



工事完了後：写真位置① (上野部川合流点下流)



1.氾濫をできるだけ防ぐための対策

【一雲済川】

6-2 河川や水路に堆積した土砂の除去

実施主体：磐田市（農林水産課・道路河川課）

《施策内容》

田川沢および雨垂川等において、出水等により堆積した土砂を除去する。

令和7年度の進捗状況

- 雨垂川や排水路等の堆積土砂の除去の実施
田川沢・天竜浜名湖鉄道下流 V=20.0m³

令和8年度の予定

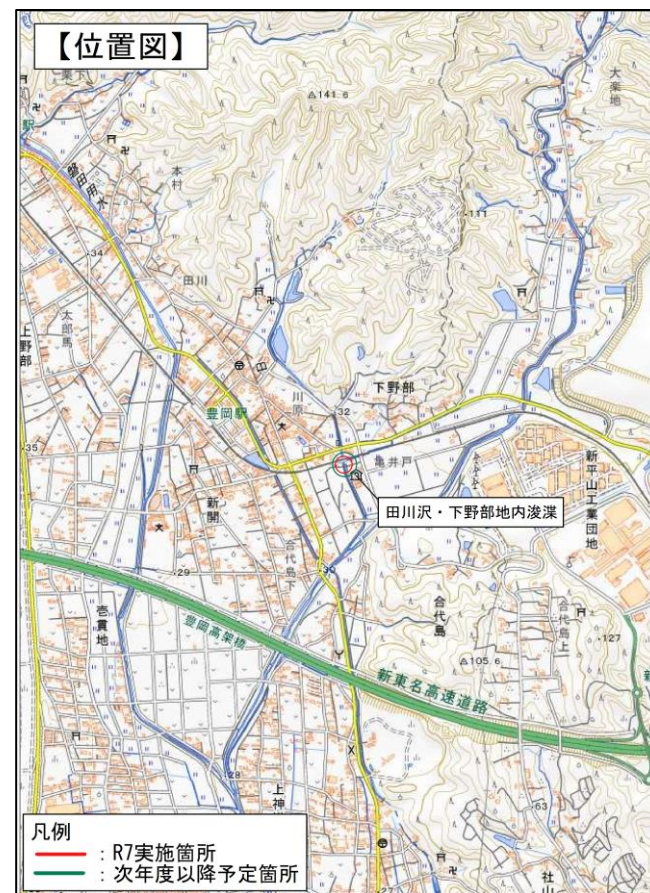
- 河川や排水路等の堆積土砂等の除去を継続的に実施
- 状況を把握するための定期的な現場確認等が必要になる。
- 必要な流下能力を確保するため、引き続き河川パトロールや自治会要望により、浚渫を実施するなどの適切な維持管理に努める。



工事着手前：写真位置



工事完了後：写真位置



1. 氾濫をできるだけ防ぐための対策

【一雲済川】

9-1,2,3 森林整備・治山事業による流出抑制対策

実施主体：磐田市（農林水産課）

《施策内容》

- 9-1 上野部（雨垂・神田）での森林整備
- 9-2 神増地区での治山対策
- 9-3 森林環境譲与税を活用した間伐の実施、及び危険木の撤去等を実施

令和7年度の進捗状況

- ・ 林道神田線の整備（擁壁工）を実施
- ・ 神増地区治山工事（流路工L=130.0m、沈砂池工1箇所）・・・①
- ・ 上野部川上流（神田地区）危険木除去・・・②
- ・ 森林整備に関するワークショップを開催し、森林整備に向けた検討を行う。

令和8年度の予定・課題への対応方針

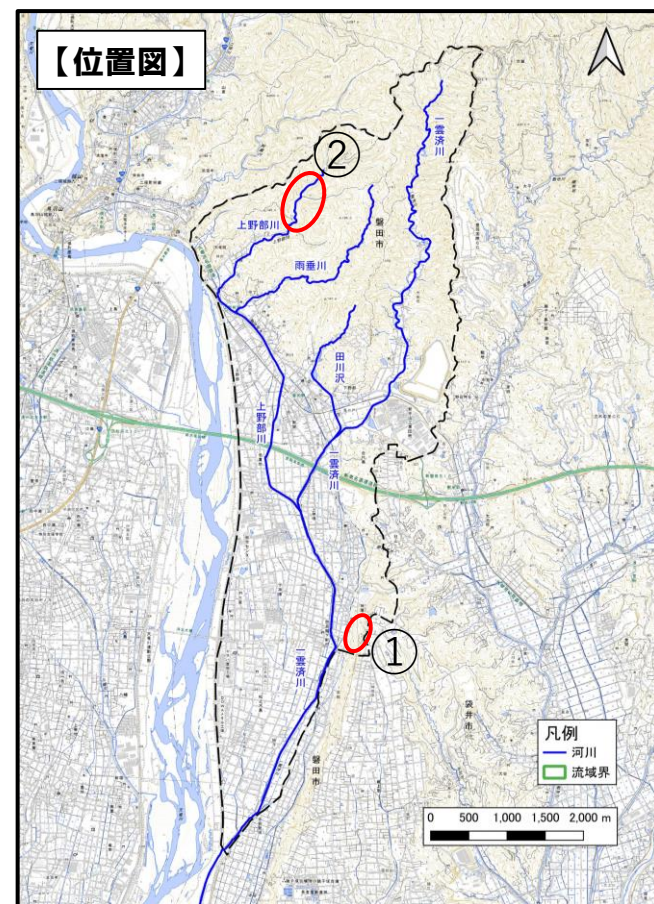
- ・ 中遠農林事務所と協議及び実施設計を速やかに行い、流路、沈砂池等の整備を行う。
- ・ 流出抑制対策として、流木捕捉型治山ダム等の情報収集、検討を行う。
- ・ 雨垂地区の森林整備方針を策定する。
- ・ 神田・雨垂地区の危険木除去の実施

施策実施に係る課題

- ・ 森林整備に向け、森林所有者や専門家等を交えた協議
- ・ 県営治山工事と連携し、工程の調整
- ・ 危険木の除去以外の方策の検討



危険木除去



2.被害対象を減少させるための対策

【一雲済川】

2-4 浸水センサの設置

実施主体：磐田市（危機管理課／道路河川課）

《施策内容》

- ・ワンコイン浸水センサの設置及びカメラとの併用による情報収集

令和7年度の進捗状況

- ・ワンコイン浸水センサの2箇所設置

令和8年度の予定・課題への対応方針

- ・市内の浸水状況を把握するため、増設箇所の検討
- ・プッシュ通知機能の検討

令和7年度設置箇所



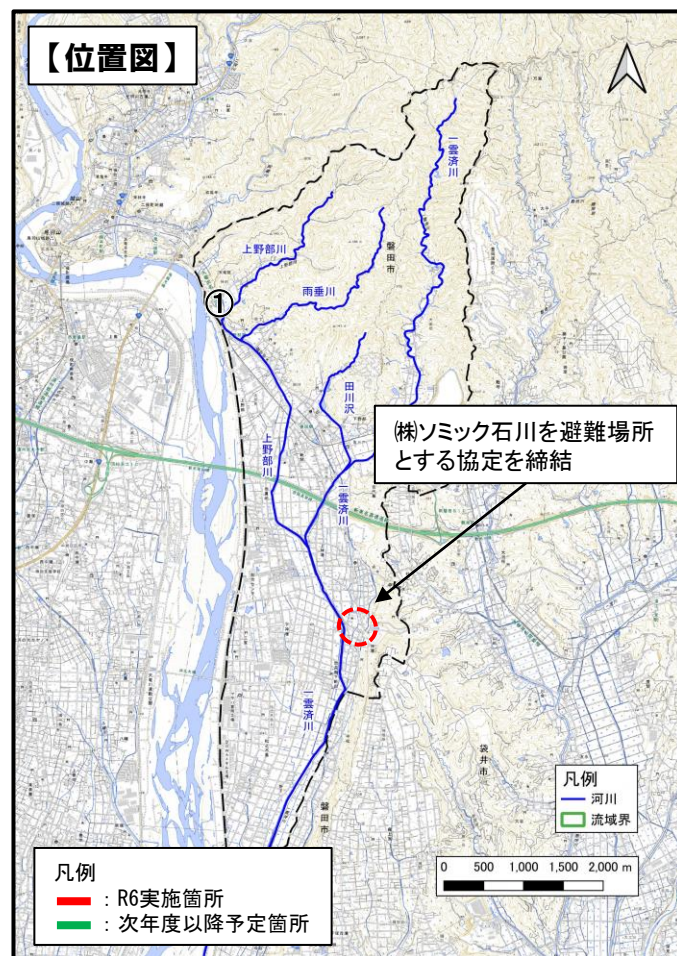
【一雲濟川】

実施主体：磐田市（危機管理課）

- ・ 浸水から逃げるための避難場所の確保と周知

- ・ 協定による避難場所の住民への周知（防災講座等）

- ・ 企業との協定等により避難場所の確保を継続的に実施する。
- ・ 住民への周知を行う



3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【一雲済川】

3-3 地域防災力の強化

実施主体：磐田市（危機管理課、消防本部警防課）

《施策内容》

- ・ 水害（洪水及び土砂の複合）に関する避難訓練や防災講座の実施

■ 令和7年度の進捗状況

- ・ 大雨による土砂災害及び洪水の発生を想定した避難訓練・出前講座を実施した。
- ・ 災害からの避難を自分事として捉えられるよう意識を高め、避難に重点をおいた。

■ 施策実施に係る課題

- ・ 避難情報等、水害に関する周知・啓発
- ・ 水災害発生時のより効果的な避難行動に繋がる水害難訓練の実施が必要。

■ 令和8年度の予定

- ・ 実際の気象状況に即した避難訓練、出前講座の継続的な実施。

令和7年度

水害避難訓練

実施のお知らせ

土砂災害と太田川の氾濫を想定した訓練を行います

自宅の災害リスクを確認しよう！

避難先は自宅の2階？ 自主避難場所？ 向笠小学校？

どこに避難しよう？

日時 8月24日(日) 9時から11時30分まで

場所 向笠小学校、自主避難場所 又は 自宅

向笠地区（向笠・向笠新屋・向笠竹之内・向笠西・篠原・岩井）の皆さんへお願い

- ① ハザードマップで自宅の危険を確認しよう！
●●ページを確認し、自宅の浸水深と避難場所を確認してください
- ② 避難ルートを考えよう！
●ページと別紙「向笠地区防災マップ」を確認し、避難ルートを考えましょう
- ③ 避難のタイミングを考えよう！
●ページを確認し、避難のタイミングを確認してください
- ④ 実際に避難してみよう！
9:30 土砂災害警戒区域に「避難指示」発令
9:45 浸水想定区域に「高齢者等避難」発令
10:00 浸水想定区域に「避難指示」発令

1 磐田市危機管理課 ☎0538-37-2116



水害避難訓練のチラシ・訓練での簡易水防工法の啓発

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【一雲済川】

3-4 ハザードマップなどのリスク情報の周知啓発 及び わかりやすい情報の提供

実施主体：磐田市（危機管理課、道路河川課）

《施策内容》

・ハザードマップのデジタル化と市民への周知啓発

■ 令和7年度の進捗状況

- ・市職員や市民活動団体による防災講座の実施
- ・市民、学校、企業に対し防災講話、マイ・タイムラインわたしの避難計画の研修及び啓発講座を実施
- ・ハザードマップをデジタル化し、スマホやパソコンで確認できるようにした
- ・商業施設を会場に、企業や団体と連携して啓発イベントを開催



■ 令和8年度の予定・課題への対応方針

- ・子育てや仕事におわれ地域防災活動への参加が少ない層への防災啓発
- ・地域の防災リーダーの育成
- ・災害を自分事として捉えられるよう意識を高める



防災啓発イベントの様子 ⇒

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【一雲済川】

3-7 SNSを活用した情報収集・情報発信

実施主体：磐田市（危機管理課、広報広聴シティプロモーション課）

《施策内容》

- ・ SNS 情報集約システムを使用した効果的な情報収集
- ・ LINE やフェイスブック等の SNS を活用した情報発信

令和7年度の進捗状況

- ・ SNS を活用して防災情報を発信

施策実施に係る課題

- ・ 市民への周知（市民による情報発信（投稿））

令和8年度の予定・課題への対応方針

- ・ 観測データ、予測など一元化したシステムの研究
- ・ 各種訓練での周知



3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【一雲済川】

3-13 ハード整備効果の積極的な情報発信

実施主体：袋井土木、
磐田市（道路河川課）

《施策内容》

- ・ 取り組む対策の内容・効果等の積極的な情報発信の実施

■ 令和7年度の進捗状況

- ・ プランに位置付けた対策内容について、地元自治会等への説明会の実施
- ・ 各種イベント等で流域治水対策の取組状況の周知
- ・ 市長定例記者会見で取組状況を報告
- ・ 磐田市HPの流域治水関連に掲載

■ 施策実施に係る課題

- ・ 対策効果や進捗管理等の周知方法の検討
- ・ 周知方法を検討

■ 令和8年度の予定・課題への対応方針

- ・ 周知方法や情報発信案を検討していく
例) ・ 県、市のホームページに掲載
・ 広報誌等に掲載して周知を図る
・ 地元自治会等を対象とした説明会の開催
・ ユーチューブ等を活用した情報発信
・ 市長定例記者会見で報告
・ 各種イベントで周知



広報いわた



流域治水

流域治水とは、流域に関わるあらゆる関係者が協力して、大雨や台風などから「いのち」と「まち」を守るために行う治水対策の考え方で、
流域（りゅういき） 降った雨が地形により、対象の河川に流れ込む範囲のこと。
治水（ちすい） 洪水等の被害から生命や財産を守るために、河川や湖沼、治水地などの整備や保全を行うこと。

「流域治水」って何？

- ① 流域治水とは？
- ② 流域治水対策の紹介
- ③ 自治体の役割

水災害対策プラン／いわた流域治水共創プロジェクト

- ④ 水災害対策プラン策定の経緯
- ⑤ プランの紹介
- ⑥ 治水の取り組み実績

磐田市ホームページ

過去の経験を生かした
磐田市の大雨・浸水対策
静岡県と連携して治水対策プロジェクトを推進しています

磐田市



市長定例記者会見・イベントでのPR